

フォレストニュース

植林が地球を救う

平成30年(2018)6月10日

No. 126

発行 高津啓洋

水没の危機を越えて

5月激しい雷雨と共に、レダに多量の雨が降りました。植樹地域にも、水没の危機がありました。急きょ排水ポンプを取り寄せ、排水に努め事なきを得ました。パンタナール地域は、水と対話しながらの作業となります。(伊達記)



水没から救われました



水没寸前の植樹地域



24時間排水ポンプで

名古屋植樹ツアー

5月19日(土)名古屋から恒例の植樹バスツアーに参加して、信州の木曾駒高原に到着しました。

最初に、名古屋市広沢副市長と木曾町の原町長の挨拶があり植樹



沢山のヒノキを植えました

が始まりました。

120人で800本のひのきの木を植樹しました。ここは、名古屋城の

本丸御殿を作るためにひのきの木を伐り出した地で、これから「名古屋城の木造の建て替えのために、ひのきが切り出される地です。私たちも「地球の緑を守る会」として5人で50本を植樹しました。

帰途の中、天然温泉にも浸かり疲れが取れました。一緒に参加しました三原さん親子も楽しかったと喜んでいました。

地球の緑を守る会 名古屋 山本力雄

船橋支部一周年と森づくり環境セミナー

6月3日(日)



『手づくりの樹林が市民のいのちを守ってくれる』という題で高津理事長が「森は人間をはじめその町に住む生き物のいのちを守ってくれます。沿岸部には防災林を、内陸部には学校の森をつくる植樹活動を続けていってください!」と熱く語っていました。

河原支部長より挨拶があり、「支部発足一周年を無事に迎えることが出来ありがとうございます」と感謝の言葉を述べました。

セミナーでは「皆さんがこの町の“環境レンジャー”となって昆虫の住処になる林や森を増やしていきましょう」と、昆虫の映像を紹介しながら語りました。セミナー後は全員で屋上の育苗所で、プランターを使ってポット苗の植え方を実習しました。(伊藤記)



[お知らせ] 7月21日(土) 国立オリンピック青少年センターで、夏の1日セミナーを開きます。参加希望を募っています。